

図書館だより

如月 きさらぎ 2月

令和 8年 2月6日
高志館高等学校図書室
文責 塚原

2月号



令和7年度もあとわずかになりました。
今年度は皆さんにたくさん来館してもらい、
貸出冊数も、昨年度を上回る数で推移して
います。

1/31日時点での、貸出数を報告します。

今年度貸出冊数	1年	2年	3年	合計
生徒数258人	1,076冊	473冊	318冊	1,867冊

お知らせ

3年生の貸出は、1月23日(金)
で終了しましたが、返却締め切りは
2月10(火)です。
必ず期限までに返却してください。

図書委員会からのお知らせ

来館者数クラスマッチ結果発表

昨年6月2日(月)から今年1月9日(金)までの来館者数を発表します。

👑 第1位 食品流通科 1年のべ 380人

第2位 食品流通科 2年のべ 138人

第3位 食品流通科 3年のべ 125人

第一位のクラスには賞状と副賞の菓子が授与されました。



広用紙にシールを貼ってくれた皆さん、ありがとうございました。
これからもマナーを守って気持ちよく図書館を利用してください。

※ 今年度の貸出は、2月27日(金)で
終了します。

※今年度に借りた本は、今年度中に返却
して下さい。宜しく申し上げます。

新着図書案内

第174回 芥川賞
野間文芸新人賞受賞作

時の家

鳥山 まこと【著】



ある家に暮らしていた三代の住人たちの人生が、彼らが笑い、悲しみ、愛した時間が壮大なスケールでよみがえる、切なくもあたたかい感動作です。

第174回 芥川賞

叫び

鳥山 丑雄【著】



紀元2600年記念万博に魅せられた青年がいた。大阪と大陸で響き合う夢とロマン、恋愛政治小説。

第174回 直木賞

カフェーの帰り道

嶋津 輝【著】



大正から昭和にかけて、女給として働いた“百年前のわたしたちの物語”。

オススメ本

桜待つ、あの本屋で

浅倉 卓弥【著】



世界のどこともわからない場所にその本屋はある。この店に来られるのは後悔や悲しみを抱えている人だけ。

星の教室

高田 郁【著】



義務教育さえまともに終えていないという枷が、社会でも家庭内でも、さやかを生き辛くさせていた。しかし、ある日、さやかは夜間中学という存在を知る。

『このミステリーがすごい!』大賞・文庫
グランプリ受賞作

どうせそろそろ死ぬんだし

香坂 鮪【著】



余命宣告された人々が集まる山荘で起きた、ある一人の突然死。
自然死か殺人か——。超新星の二度読み必至「館」ミステリー!

ミステリー3冠

失われた貌

櫻田 智也【著】



無関係に見えた出来事が絡み合い、現在と過去を飲み込んで、事件は思いがけない方向へ膨らみ始める。

探偵小石は恋しない

森 バジル【著】



小石偵探事務所の代表でミステリオタクの小石は、名探偵のように華麗に事件を解決する日を夢見ている。だが実際は9割9分が不倫や浮気の調査依頼で、推理案件の依頼は一向にこない。